

## 遠い飲み屋・青年小屋に泊まる編笠山～権現岳の山旅

山行日：H30.10.13～14

コース：

10/13 観音平 9:30-雲海展望台 10:25-押手川 11:25-編笠山 13:00/13:10- 青年  
小屋 13:45

10/14 青年小屋 6：30-権現岳 8：25/8：40-三ツ頭 9：25-前三ツ頭 10:00/10:10-天  
女山 12:25/12:40-甲斐大泉 13:30

青年小屋にお詫びをしたい。長いこと隙間だらけの、辛うじて建っている今にも倒れそうな侘しい小屋だと思い込んでいた。だから何も期待せず、テント泊はできないから仕方なく泊まる、くらいの気持ちだった。ところが泊まってみると食事は美味しいし、トイレはきれい。廊下にも暖房が入っていて暖かく、とても快適な小屋だった。特に夕食は山では珍しい冷や奴にアジフライ、トン汁と日ごろの私の食生活に比べはるかに充実した内容である。

談話室のこたつで昼寝もし、よく食べよく寝て体調は万全であったが、残念なことに夜半から雨。お昼には雨もあがる、との事で計画より 30 分遅れて出発。目印の赤丸が薄くコースを見失ったり、ガレ場の急登や鎖場のトラバースに少しだけ緊張したりしたが、無事小屋から約 2 時間で権現岳に登頂。赤岳や阿弥

陀岳などの展望が素晴らしいはずなのだが、あいにくの雨で何も見えないのでそそくさと下山。三ツ頭からは対照的になだらかな山道をひたすら天女山を目指して下る。

天女山とは、何と美しい響き！巻機伝説のような言われを期待していたら「一体どこが山？」と思うような変哲のない平坦な場所でひどく落胆させられる。天女山には何の責任もないのだけれど。これも長いこと、思い違いをしていた。そう



何事も先入観、決めつけは禁物。そして「百聞は一見に如かず」である。期待が良くも悪くもはずれた楽しい山旅であった。